

○仙台市幼保連携型認定こども園の設備及び運営に関する基準を定める条例

平成二六年六月二六日

仙台市条例第三〇号

(趣旨)

第一条 この条例は、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成十八年法律第七十七号。以下「法」という。）第十三条第一項の規定に基づき、幼保連携型認定こども園の設備及び運営に関する基準を定めるものとする。

(定義)

第二条 この条例において使用する用語は、法において使用する用語の例による。

(幼保連携型認定こども園の設備及び運営に関する基準)

第三条 法第十三条第一項の規定により条例で定める基準は、幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準（平成二十六年内閣府・文部科学省・厚生労働省令第一号。第七条第一項ただし書（保育室及び遊戯室に係る部分に限る。）並びに第六項第一号及び第二号を除く。）に規定する基準（同令の改正に際し定められた経過措置に規定する基準を含む。）とする。

2 前項に規定するもののほか、同項の条例で定める基準は、次のとおりとする。

- 一 乳児室又はほふく室の面積は、満一歳未満の園児一人につき五・〇平方メートル以上、満一歳以上満二歳未満の園児一人につき三・三平方メートル以上とすること
- 二 前号に掲げるもののほか、幼保連携型認定こども園における教育及び保育の水準の向上のために必要なものとして市長が定める基準に適合するものであること

附 則

この条例は、市長が定める日から施行する。

（平成二七年三月規則第一六号で、平成二七年四月一日から施行）